

# 一般質問

## 危機管理について

新風 上林 富夫

**問** 小中学校の竜巻発生時など含む災害時避難訓練、突風などによる窓ガラスや校内物品などの飛散防護対策、また食料、飲料水などの各学校の備蓄状況をうかがう。

**答** 竜巻についての避難訓練は現在していないが本年度中に全ての学校の防災指導要綱を整備したい。また、物品対策は危険な物は鍵のかかった戸棚に管理しテレビ等はベルトで固定するなど安全確保に努めている。備蓄食料などは一中の防災倉庫に飲料水が3600リットル、乾パンが37000食、アルファ米7400食、各地域の防災倉庫に保管されている。

### ●放置空き家対策について

**問** 3月議会質問後の状況、今後の予定についてお聞きする。

**答** 担当者などで日本初の空き家条例を制定した所沢市への視察研修や空き家対策の民間研修会などへの参加や全国初の行政代執行による空き家取り壊しを行った大仙市の事例、条例制定に対する法的問題の講義を受講するなど研究をしてきた。今後も空き家の増加が予想されることなどから条例が必



竜巻で崩壊した「つくば市」の家屋 (5月10日筆者撮影)



要であるとの意見で一致。警察、消防などと連携しながら来年3月議会上程を目指し研究中である。また副次的効果として空き家バンクへのアクセスも多くなっており地域経済活性化にも期待している。

### ●市営住宅滞納対策について

**問** 住宅使用料滞納者の現状は。24年3月末で滞納者132世帯、滞納額3743万円である。引き続き滞納金額縮減に努める。

**答** 滞納者132世帯、滞納額3743万円である。引き続き滞納金額縮減に努める。

## 市役所本庁舎及び市民会館建て替えの内容と具体的スケジュール

新風 新井 重一郎

**問** 解体業者の選定は地元優先か。施設ごとに、一般競争入札方式による市内業者への発注とする。

**答** 学識経験者を有する大学教授、国、県の建設専門官及び関係職員からなる選定委員会が設計業者の創造性、実績、技術力を審査し一次で5社程度に絞り最終の二次審査では公開による技術提案とヒアリングを行い選定する。

**問** 「公開プロポーザル方式」による設計業者の選定とは。

**答** 学識経験を有する大学教授、国、県の建設専門官及び関係職員からなる選定委員会が設計業者の創造性、実績、技術力を審査し一次で5社程度に絞り最終の二次審査では公開による技術提案とヒアリングを行い選定する。

**問** 選定業者による基本設計、実設計の内容は。

**答** 基本構想を踏まえ建築の規模、構造、配置等に加え電機、機械設備等、コスト比較を含めた基本となる計画の策定。次に基本設計に基づき、建設工事を行うための詳細な設計と積算が実施設計。

**問** 本体工事、外構工事の発注方法は。

**答** 経営規模、技術力を考慮し、入札方法・条件等を検討し、地域経済対策として地元事業者の活用を図れるようにする。

**問** 建築構造（鉄筋コンクリート、木造、混構造等）の決定は。

**答** 規模、強度、耐火性能、コス

トを比較検討し基本設計時に決定。木材利用は建設の基本理念としてできる限り生かす。



解体を待つ市役所本庁舎と市民会館

- ◎秩父市の農業人口推移
- ◎国の若手就農支援と離農奨励
- ◎企業農業参入と農業生産法人化
- ◎最近の企業誘致進捗状況
- ◎夏休み8月19日に、第6回目となる「理科おもしろ実験教室」の開催

## 一般質問

### 秩父市資源回収支援事業

市民クラブ 荒船 功

**問** 平成22年度成果報告書によると秩父市では、さわやかな生活環境づくりの政策に基づいて、育成会等の地域住民団体が回収した有価物の実績に応じて、キログラム当たり8円の報奨金、秩父市有価物回収組合には3円の助成金を交付、町会からの資源回収には1円の報奨金、ペットボトルには10円の報奨金が支払われており、廃品回収事業は育成会の大きな活動財源になっている。

**と**ころが、今年度キログラム8円を1円引き下げて7円にすることである。値下げする理由は、**答** 報奨金単価を引き下げた理由は、キログラム当たり8円は県内他市と比較して高いことと、単価を引き下げても報奨金交付の目的及び趣旨にかなう事業は継続していきける見通しである。県内他市との比較では、朝霞市のキログラム10円について8円は2番目に高く報奨金を交付している22市平均額は5円となっている。

また、秩父市有価物回収業者への助成金単価についても、大幅に引き下げを実施している。

平成17年度はキログラム7円で

あったが、その後、段階的に引き下げを実施して、現在は1円になっている。



廃品回収の様子

- ◎エコタウン計画の実施に向けて
- ◎マスタープランの作成
- ◎企業誘致

### 市役所本庁舎建設について

市民クラブ 江田 治雄

**問** 基本構想の中で、駐車スペース550台は確保できるか。

**答** 現在の駐車台数400台から、550台を計画している。本庁舎の周りに3か所の駐車場も有効利用できるように見直す。立体化や地下利用も検討しているが、費用がかかるので、慎重に検討を重ねたい。さらに駐車場の管理システムも検討する必要がある。例えばスタンプ方式や時間管理方式で、市民が本庁舎等に来庁の場合、市民が本庁舎等に有料とし管理費を捻出する。駐車場は大きな問題である。市民の皆さんが安心して利用できるように設計する。

**問** 環境立市「ちちぶ」を宣言しているが、環境に優しく先進的な建物になるのか。

**答** 基本的な設計は、LED照明も入ってくると思う。太陽光発電等も積極的に導入したいが建設費44億円の中で可能かどうか、費用対効果や完成後のランニングコストも充分検討する必要がある。市民を守る安心で、自然環境にやさしい施設となるよう設計したい。

#### ●水道事業について

**問** 大滝大血川・荒川谷津川簡易水道は連結できないか。

**答** 緊急的な目的(火災等の有事)での連結は可能である。今後水道事業を統合することで準備しており、将来ビジョンの中で検討している。



現在の駐車場の風景

- ◎シルバー人材センターの現状
- ◎有効的な会議のあり方について

# 一般質問

## 「基礎学力」について

市民クラブ 竹内勝利

**問** 「人間力」と「基礎学力」を養う教育の実現について。

**答** 基礎学力の向上については学力調査の結果等を活用して、家庭学習時間や読書時間の目標設定、小中学校の学力向上に取り組んでいる。教師志望の高校生が中心となって、小学生を教えるチャレンジスクールを夏休み3日間、さらに教師を目指す大学生によるボランティアが中学生に教えるフォローアップスクールを冬休みに3日間行っている。

**●「図書館」について**

**問** 新しい本庁舎に図書館を併設できないか。

**答** 新たに、図書館機能を加えるとなると、必要な機能を削減しなくてはならなくなり、現実的には難しい。しかし、例えば新しい本庁舎の施工に併せて、歴史文化伝承館の交流フロア等を元に戻した上で「図書館コーナー」を設置し、一部の閲覧用図書を配備したり、図書検索のインターネット端末や返却用ブックポストを設置することは十分に考えられる。

◎本庁舎・市民会館について



ヤソトン市との姉妹都市交流事業

**●「ヤソトン交流」について**

**問** ヤソトン市との姉妹都市交流の今後の展開について。

**答** 今後も秩父ヤソトン会が中心となって交流を進めていただくが、両市の発展につながる交流には協力をやりたい。更なる親善交流を深めるべく、国や県に支援を求め、事柄については協力を要請し、国際交流の推進に努めていきたい。

## 市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

**●肺炎球菌予防ワクチン接種補助制度改善について**

**問** 肺炎で亡くなる人は多く、原因別の死者数は依然第4位だ。秩父市のワクチン接種率は郡内4町平均に比べて低い、また65歳以上84歳以下の人の死亡率は逆に高く、ハイリスクを抱えている。現在の補助制度では75歳以上となっている年齢の引き下げ、生涯1回という制度改善は図れないか。

**答** 高齢者の命と健康を守るために、医師会との協議を図るとともに、財源確保を考慮しながら、前向きに検討していく。

**●3月定例会で採択された  
「食品放射線測定器の設置について」の協定処理について**

**問** 食品放射線測定器の設置についてどのような協議をしてきたか。

**答** 教育委員会、市長室、財務部で、3回の協議をしてきた。

**問** 給食の放射線測定はどのようなになっているか。また今後の予定は。

**答** 1キログラム当たり10ベクレルまで検出できる機器で、週1回、検査しているが、現在ますます不検出となっている。今後は、回



食品放射能測定機の1例

数は週2回、品目は3品目に増やして検査したいと考えている。

**問** 依頼検査ではなく自前の機器できめ細かい測定が望まれる。また放射線問題については全庁横断的な組織（会議）を構築して検討することが必要だ、現状と対策は。

**答** 総務部、財務部、市民部、産業観光部、環境部、教育委員会など関係部所を網羅した組織を早急に立ち上げ、測定機器の購入を含め対策を検討していく。

# 一般質問

## 市民ニーズに応える聖地公園

公明党 福井貴代

**問** 少子化・核家族化が進む現代にあつて、お墓を継承させるのが難しい方々の要望に対応し、納骨堂や合葬墓の整備が必要と考えるが、今後の整備計画は。

**答** 本年6月1日現在14369か所の墓所を永代使用として貸し出し、約3万4千人の方々が埋葬されている。時代の経過に伴う社会状況の急激な変化に対応し、納骨堂や合葬墓について早急に検討していくことは、重要な課題。墓所の貸し出しがほぼ完了していることから、新規整備も検討している。その時には研究成果を十分に活かしていきたい。

### ●学校施設の非構造部材の耐震対策

**問** 全国の学校施設の非構造部材の耐震化率はたった29.7%。秩父市における非構造部材（天井や照明器具等）の耐震対策は。

**答** 学校施設の耐震化工事の中で非構造部材についても耐震化を進めている。専門家による点検については早期に対応したい。



新規整備が待たれる聖地公園

◎自治体職員の人財開発について

### ●学校図書館の充実

**問** 学校司書の配置、図書整備、新聞配備に国の予算がついている。更なる充実のため活用を。また書棚が不足しているとの声に対応を。

**答** 秩父市学校図書館運営改善モデル校として高篠小学校と尾田中学校で司書教諭の支援を行う学枝補助員を配置。モデル校の成果を検証し他校にも計画的に進める。図書の質の向上に努め、不足書棚について順次設置していく。

## 秩父市の防災・減災対策について

公明党 大久保進

**問** 防災訓練の内容を学校と連携して訓練を考えているか。

**答** 防災訓練は日曜日に実施するために、町会と学校の調整が必要となるため、難しい面もあるが、今後も、より充実した内容で多くの皆様が参加できるように努めていく。

**問** 防災ハンドブックの見直しは考えているか。

**答** 埼玉県の地震被害想定についても、本年度から見直しを実施し平成25年度中には完了するとのこと。秩父市防災計画を含め、内容の大幅な見直しが必要になり、これに合わせ見直しが必要と考えている。

**問** 通学路の安全対策でカラー舗装等の標示ができないか。

**答** 歩道の整備が難しい路線については、カラー舗装やグリーンベルト等の標示を継続しているところであり、今後も通学路の安全対策を強化しカラー舗装等の標示を重点的に設置したいと考えている。

**問** スクールガードの人数が足りない。シルバー人材センターへの依頼はできるか。

**答** 現在1日あたり約70の方が

下校時の見守り活動を行っている。シルバー人材センターの活用には予算が伴うことから、スクールガードの人数を増やすことが可能か検討していく。



今後活用が期待される防災ハンドブック